明治の賢夫人おかえり

誕生地・新屋敷 乃木静子像完成

明治期の陸軍大将・乃木希典の妻、静子の銅像が鹿児島市新屋敷町の甲突川左岸の公園に完成し、27日に除幕式があった。「乃木静子夫人奉賛会」（平瀬葉子会長）の会員など約300人が集まり、完成を祝った。

（18面に関連記事）

静子は明治天皇大喪の礼の夜、自宅で希典とともに殉死。賢夫人としてたたえられ、1919（大正8）年に今回と同じ誕生地に銅像が建立された。太平洋戦争末期に軍事資材として供出され、戦後も台座のみが残っていた。2014年に自治会関係者や有志が銅像復元のための奉賛会を設立し、募金活動などで資金を集めてきた。

銅像は、ブロンズ製で、台座も含めて全高2・1㍍。式では平瀬会長や三反園訓県知事らが像を覆った布を取り去ると、会場から大きな拍手が送られた。薩摩琵琶による「乃木静子夫人」の演奏もあった。

平瀬会長は「ゼロからのスタートだったので、言葉にならず胸がいっぱい。像があることで、静子夫人をみんなの記憶の中にとどめてもらえるのでは」と話した。（児玉裕子）

幕が取り払われた乃木静子像
＝鹿児島市新屋敷町の甲突川左岸

明治期の陸軍大将・乃木希典の妻、静子の銅像が鹿児島市新屋敷町の甲突川左岸の公園に完成し、27日に除幕式があった。「乃木静子夫人奉賛会」（平瀬葉子会長）の会員など

の近現代建築」も開催。行委員の三島浩幸さん）は「この機会にいろろなすばらしい建物を ってほしい」と呼び掛る。問い合わせはかごま文化情報センター＝99（248）812